

取組内容

益子町は窯業と農業を擁する「土のまち」である。以前より陶芸体験等、産業観光に取り組んでいるが、平成21年度、新たな産業観光の形として、「土」をテーマにした文化芸術イベント「土祭（ヒジサイ）」を開催している。来場者数は約5万人。

「環境、健康、文化」という再生計画の政策目標の三本柱を踏襲し、アーティストによる作品展示やワークショップ、音楽ライブやセミナー、朝市や農村カフェなど18もの企画によって構成され、運営に関しては、28ものプロジェクトを町民と行政の有志が力を合わせてイベントを行う協働体制のもと、新たな観光交流事業を展開している。



<「土舞台」での土(ひじ)音楽祭>



<3000体の益子の土人形>

評価のポイント

益子は陶器の産地として有名だが、益子の風土、土着の文化という原点を見つめなおし、その「土」に着目し、農業をはじめとする地域の様々な資源を活用した「生活芸術（アート）」事業は、優れた視点といえる。

陶器の里を活かした景観、空き店舗を活用した会場や農村カフェでは地元野菜を使用したメニュー開発、益子朝市の開催等が行われており、地域住民が積極的に参画し、地域全体のおもてなしが感じられる点は、今後、まちづくりに取り組む多くの地域のモデルとなる。